

令和8年度前期 141 体育（1）

- 1 使用教科書 「新高等保健体育」（改訂版）（大修館書店）
- 2 使用学習書 「現代高等保健体育」（NHK出版）
- 3 使用教室 実技：体育館 座学：時間割で確認
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	7月 1日(水)	スポーツの発祥と成立 スポーツ文化の発展と現代社会	6	P152～P159	P86～P87	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること（代筆）は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりません、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル（ファイル名は「登録番号-141-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)）」にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して（または電話で）直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います（通信制の休日を除く）。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 座学の場合、「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」、実技の場合は、「体育館シューズ」、運動に適した服装、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
 - ② やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
 - ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
 - ④ 必要面接時数は『5時間』です。実技・座学どちらに出席しても構いませんが、バランスを考え計画を立ててください。座学は1時間実施します。座学に出席した場合、その時間は必要面接時数（5時間）に含まれます。
- ※ 成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、実技・学習カード・レポート・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は実技・学習カード・レポートで分野別に配点・採点、(3)は実技：学習カード：レポート評価（全体・主体的に学習に取り組む態度）の評価を5：2：3として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 142 体育(2)

- 1 使用教科書 「新高等保健体育」(改訂版)(大修館書店)
- 2 使用学習書 「現代高等保健体育」(NHK出版)
- 3 使用教室 実技: 体育館 座学: 時間割で確認
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	7月 1日(水)	スポーツにおける技術と戦術・戦略 スポーツにおける技能と体力	13, 14	P174~P179	P94~P95	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合には再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-142-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合には即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 座学の場合、「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」、実技の場合は、「体育館シューズ」、運動に適した服装、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
 - ② やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
 - ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
 - ④ 必要面接時数は『5時間』です。実技・座学どちらに出席しても構いませんが、バランスを考え計画を立ててください。座学は1時間実施します。座学に出席した場合は、その時間は必要面接時数(5時間)に含みます。
- ※ 成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、実技・学習カード・レポート・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は実技・学習カード・レポートで分野別に配点・採点、(3)は実技:学習カード:レポート評価(全体・主体的に学習に取り組む態度)の評価を5:2:3として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 143 体育(3) —2

- 1 使用教科書 「新高等保健体育」(改訂版)(大修館書店)
- 2 使用学習書 「現代高等保健体育」(NHK出版)
- 3 使用教室 実技: 体育館 座学: 時間割で確認
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	6月3日(※)	体カトレニング 他	21	P188~195	P96	
2	7月15日(※)	生涯スポーツの見方・考え方 他	27	P200~206	なし	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-(143)-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 座学の場合、「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」、実技の場合は、「体育館シューズ」、運動に適した服装、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ 必要面接時数は『5時間』です。実技・座学どちらに出席しても構いませんが、バランスを考え計画を立ててください。
(座学は最大1時間まで出席可)

※成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、実技・学習カード・レポート・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は実技・学習カード・レポートで分野別に配点・採点、(3)は実技:学習カード:レポート評価(全体・主体的に学習に取り組む態度)の評価を5:2:3として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 144 体育(3) —3

- 1 使用教科書 「新高等保健体育」(改訂版)(大修館書店)
- 2 使用学習書 「現代高等保健体育」(NHK出版)
- 3 使用教室 実技: 体育館 座学: 時間割で確認
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	6月3日(休)	体カトレニング 他	21	P188~195	P96	
2	7月15日(休)	生涯スポーツの見方・考え方 他	27	P200~206	なし	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-(144)-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 座学の場合、「教科書」、「学習書」、「氏名バーコードシール」、実技の場合は、「体育館シューズ」、運動に適した服装、「氏名バーコードシール」を1つでも忘れたら出席を認めません。
- ② やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ③ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ④ 必要面接時数は『10時間』です。実技・座学どちらに出席しても構いませんが、バランスを考え計画を立ててください。
(座学は最大2時間まで出席可)

※成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、実技・学習カード・レポート・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は実技・学習カード・レポートで分野別に配点・採点、(3)は実技:学習カード:レポート評価(全体・主体的に学習に取り組む態度)の評価を5:2:3として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

令和8年度前期 145 保健

- 1 使用教科書 「新高等保健体育」(改訂版)(大修館書店)
- 2 使用学習書 「現代高等保健体育」(NHK出版)
- 3 使用教室 時間割で確認
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	5月20日(木)	1. 日本における健康課題の変遷～	P1～3、17～19	P12～35	P8	
2	6月17日(木)	9. 身体活動・運動と健康～	P4～5、9～12	P36～55	なし	
3	7月15日(木)	16. 精神疾患の特徴～	P15、16、22～26	P56～79	P30	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりません、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-(145)-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ② 必要面接時数は『1時間』です。
- ③ 「教科書」、「氏名バーコードシール」のどちらかを忘れた場合は出席することができません。

※成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点から、実技・学習カード・レポート・面接指導などを総合的に評価します。(1)と(2)は実技・学習カード・レポートで分野別に配点・採点、(3)は実技・学習カード・レポート評価(全体・主体的に学習に取り組む態度)の評価を5:2:3として採点します。最終的に、(1)(2)(3)の点数を合算して「評点」を算出します。

NHKラジオ 高校講座 保健体育

2026年度 年間放送計画表(案)

(2025年11月19日現在)

FM 木曜日(日曜放送) 午前3:40~4:00

※この番組は、前年度の開始です。
※放送内容は緊急事態や特別番組などで変更になる場合があります。
※放送内容は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/9	1 健康の考え方と成り立ち	①健康とは ②なぜかいを重視した健康の考え方 ③健康の成り立ちとその要因
16	2 私たちの健康のすかた	①わか国の平均寿命などの健康指標の変遷 ②わか国の健康水準向上の背景 ③生活習慣病などの増加と新たな健康課題
23	3 生活習慣病とその予防	①生活習慣病の概念 ②病気に関する生活習慣 ③生活習慣病の予防
30	4 がんの原因と予防	①がんとは ②がんの種類と原因 ③がんの予防
5/7	5 がんの治療と回復	①がんの治療法 ②緩和ケアとは ③がんとともに生きる社会づくり
14	6 スポーツの楽しみとスポーツ文化	①スポーツの歴史的発展と多様な変化 ②スポーツの文化とは ③スポーツ文化への多様な関わり
21	7 オリンピックとパラリンピックの意義	①オリンピックの意義 ②パラリンピックの意義 ③オリンピック・パラリンピックの意義
28	8 スポーツの経済効果とスポーツの国際化	①スポーツと経済 ②スポーツ産業の拡大 ③スポーツの国際化とトピックス
6/4	9 食事と健康	①食事の重要性 ②不適切な食事と健康 ③健康に良い食事のとり方
11	10 運動、休養、睡眠と健康	①運動の効果 ②休養と睡眠の効果 ③ライフスタイルと、休養・睡眠のあり方
18	11 喫煙、飲酒と健康	①喫煙の健康と社会への影響 ②飲酒の健康と社会への影響 ③喫煙、飲酒の個人と社会の対策
25	12 薬物乱用と健康	①薬物乱用とは何か ②薬物乱用の本質 ③薬物乱用の防止とその対策
7/2	13 スポーツにおける技能と体力	①運動・スポーツにおける技能と体力の関係 ②トレーニングの基本原理 ③具体的なトレーニングの方法
9	14 スポーツにおける技術と戦術	①技術と技能の違い ②技能の型に即じた練習 ③戦術・作戦・戦略とは
16	15 精神疾患の特徴	①精神疾患の要因とおもな精神疾患 ②精神疾患に陥る年代別傾向 ③現代社会と精神疾患
23	16 精神疾患予防と回復	①日常生活における予防・治療と社会復帰の整備 ②専門家による支援・治療と社会復帰の整備
30	17 健康に関する意思決定と環境づくり	①健康に関する意思決定と行動選択 ②ヘルスプロモーションの考え方と環境づくり ③健康づくりへの社会的取り組み
夏期講座 8月4日(火)～9月30日(日) 各放送内容から選んだ話題のための再放送などを、科目の傾向を基に放送します。		
9/3	18 現代の感染症とその予防	①現代の感染症 ②感染症予防の3原則 ③個人および社会における感染症対策
10	19 性感染症・エイズとその予防	①性感染症とは何か ②性感染症・エイズの現状 ③性感染症・エイズの対策
17	20 技能の上達過程と効果的な動きのメカニズム	①技能の上達過程 ②効果的な練習法 ③効果的な動きのメカニズム
24	21 運動やスポーツにおける安全の確保	①本カテゴリーの基礎知識 ②安全対策の重要性
10/1	22 事故の現状と発生要因	①事故とその発生 ②事故の発生場面 ③事故に際する自救・他救

8	23 安全な社会の形成	①個人の危険予測と危険回避 ②自防と共助 ③安全な社会づくり
15	24 交通安全	①個人による交通事故防止の取り組み ②交通関係対策と安全な自動車 ③交通安全における関係者の責任と役割
22	25 応急手当の意義と日常的な応急手当	①応急手当の意義と事故や災害に有効な応急手当の重要性 ②応急手当の手順 ③応急手当の普及と意識向上
29	26 心肺蘇生法	①心肺蘇生の意味と目的 ②心肺蘇生法の手順 ③AEDの手順
11/5	27 生涯スポーツの考え方とライフスタイルに応じたスポーツ	①生涯スポーツが持つ役割 ②ライフスタイルにおけるスポーツの楽しみ方 ③ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 ④日本のスポーツの歴史 ⑤世界のスポーツ政策
12	28 スポーツを推進する取り組み	①スポーツと地域課題 ②オリンピックなどの国際大会開催と地域課題 ③これからのスポーツと地域課題
19	29 スポーツと環境	①ライフスタイルと環境 ②環境問題における心とからだの変化 ③環境問題における健康課題と性意識と性別の役割
26	30 異性期における健康課題と選択	①妊娠・出産における健康課題 ②家族計画と避妊の選択 ③心と体の発達と親密生活 ④妊娠生活と家族の健康
12/3	31 妊娠・出産と家族計画	①心と体の発達と親密生活 ②妊娠生活と家族の健康 ③家族の健康と地域課題の活用
10	32 結婚生活と健康	①中年期における心身の変化 ②中年期における生活のあり方 ③結婚後の健康を築く取り組み
17	33 中年期と健康	①働き方の変化と健康課題 ②労働環境と健康 ③健康の維持と健康づくり
24	34 働くことと健康	

放送日	タイトル	学習のポイント
冬期講座 12月29日(火)～1月10日(日) 各放送内容から選んだ話題のための再放送などを、科目の傾向を基に放送します。		
1/14	35 大気・水質・土壌汚染と健康	①大気汚染の現状と健康課題 ②土壌汚染の現状と健康課題
21	36 環境と健康に関する対策	①環境汚染の防止とその対策 ②ごみ処理の現状と対策 ③上下水道の整備とその健康 ④健康の安全性と私たちの役割
28	37 食品の安全性と食品衛生活動	①食品の安全性に関する取り組み ②食品の安全性の確保 ③食品の安全と私たちの役割
2/4	38 豊かなスポーツライフの創造	①これまでのスポーツライフ ②これからスポーツライフ ③豊かなスポーツライフの創造のために
11	39 保健サービスとその活用	①保健サービスの役割 ②保健サービスへの活用 ③健康課題の活用
18	40 医療サービスとその活用	①医療サービスの役割と役割の活用 ②医療サービスの活用 ③医療サービスの活用
25	41 医薬品の制度とその活用	①医薬品の役割と役割の活用 ②医薬品の活用 ③医薬品の活用
3/4	42 様々な保健活動や社会的役割	①国民健康づくり活動 ②国民健康づくり活動 ③健康づくり活動や社会的役割
春期講座 3月9日(火)～4月4日(日) 各放送内容から選んだ話題のための再放送などを、科目の傾向を基に放送します。		